

I. 主な担当科目

地域研究方法論

II. 研究分野

開発経済学

III. 研究分野（英語表記）

Development Economics

IV. 修士課程学生のゼミ履修要件

1. 研究活動や論文執筆にあたっての倫理、ルール、マナーを理解していること。日本学術振興会の『科学の健全な発展のために：誠実な科学者の心得』（<https://www.jsps.go.jp/j-kousei/rinri.html>）を熟読しておくこと。さらに、図書館主催の「レポート・論文の書き方」講習会を受講していることが望ましい。
2. 研究課題が私自身指導可能であること。
3. ミクロ経済学と計量経済学について大学院生として必要な知識をもっていること。
4. 定量的な分析をおこなう場合は、Stata や R などの統計処理アプリケーションで、基礎的なプログラミングが行えること。

V. ゼミ選考期間

修士 1 年次からの履修が望ましい。当該年度 4 月の履修登録期限までに面接を行う。希望者は事前にメール（yukichi.mano@r.hit-u.ac.jp）で連絡し、面接の際には、履歴書及び修士課程入学試験の際に提出した研究計画書を持参すること。[at]は@に読み替えて下さい。

VI. 指導方針

修士 1 年次は、主に修士論文の準備作業（テーマの決定・データの収集など）を行う。修士 2 年次は、履修者による研究報告を中心とするが、適宜、関連するテーマのレクチャーや論文作成指導を行う。

VII. 博士後期課程への進学要件（コア科目）

中級または上級ミクロ経済学で A 以上、および、中級または上級計量経済学で A 以上、の成績を目安とする。

VIII. 博士後期課程への進学・編入学要件（進学資格試験・編入学試験）

進学資格試験（コンプ）ないし博士後期課程編入学試験の筆記試験の「ミクロ経済学」「統計学・計量経済学」の 2 科目のうち少なくとも 1 科目に合格していること。進学資格試験（コンプ）ないし博士後期課程編入学試験廃止後も同様の水準の知識・スキルを有することを目安とする。

IX. 博士後期課程への進学・編入学要件（その他）

なし。

X. 共同開講者に関するメモ

XI. 詳細リンク先 URL

<https://sites.google.com/view/hitotsubashi-dev-econ/>